（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ままはぐ小牧外堀事業所			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7家庭	（回答者数）	5家庭
○従業者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	６名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりができている。	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりができている。	個々の支援内容について定期的な振り返りを行い、より一人ひとりに応じた支援の質の向上を図る。
2	保護者との連携が図られており、日々の様子や成長について共有できている。	連絡帳や面談を通して情報共有を行い、保護者の意向を支援に反映できるよう努めている。	保護者支援の機会を増やし、相談しやすい環境づくりや交流機会の充実を図る。
3	安全面に配慮した環境整備が行われており、子どもが安心して過ごせる体制が整っている。	活動内容や子どもの特性に応じて環境調整を行い、事故やトラブルの予防に努めている。	日々の支援の振り返りを通して安全面の見直しを行い、より安心して過ごせる環境づくりを強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や対応について、職員間での共有にばらつきが見られることがある。	日々の業務の中で情報共有の時間が十分に確保できていないことが要因と考えられる。	定期的な打ち合わせや記録の活用を通して、情報共有の徹底と支援の統一を図る。
2	保護者支援や交流の機会が十分とは言えない部分がある。	業務時間や保護者の状況により、機会の設定が難しいことが要因と考えられる。	無理のない範囲で面談や情報発信の機会を増やし、保護者との関係強化を図る。
3	研修や訓練の内容について、職員ごとの理解度に差が生じることがある。	経験年数や知識の差により、理解の深さに違いが出ていることが考えられる。	継続的な研修の実施や振り返りの機会を設け、全体のスキル向上を図る。

（別紙４）

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ままはぐ小牧外堀事業所

公表日　2026年3月17日

利用児童数　７人　　回収数　５人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					活動内容やお子さまの状態に応じて、安全に過ごせる空間の確保に努めております。今後も、児童が安心して過ごせる環境整備を継続してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		基準に沿った人員配置に加え、看護職員等を含め、お子さまの状態に応じた支援体制を整えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					お子さま一人ひとりの状態やご家庭のご意向を踏まえ、ニーズや課題を整理した上で個別支援計画を作成しております。今後も丁寧な聞き取りと評価を行い、より適切な計画作成に努めてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択されていると思いますか。	3	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1			具体的に１日どのように生活しているのか見学ができる日があると良いと思う。	個別支援計画に基づき日々の支援を行っております。今後は支援の様子や具体的な関わりについても、より分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。また、ご希望に応じて支援の様子をご覧いただける機会についても検討してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4		1			お子さまの体調や発達段階、興味関心に合わせて、無理のない範囲で活動内容を工夫しております。今後も経験を広げられるよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	2	健常児の子どもたちとも関わりが持てるとより学べると思った。	安全面や体調面への配慮から機会が限られる場合もありますが、可能な範囲で関わりの機会を検討しております。今後もお子さまに無理のない形で社会とのつながりを意識した支援を考えてまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1	対応の仕方や困っていることなど聞くと教えてくれるのでとても参考になっている。送ってくれる動画で保育士さんの関わり方がわかるので助かっている。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				連絡帳やあった時に様子を共有できている。	ご意見ありがとうございます。 日々の様子についてはお伝えしておりますが、より分かりやすく具体的に伝わるよう、内容や方法について工夫してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					日頃より、子育てや関わり方についての助言・相談対応を行っております。今後も継続し、安心してご相談いただける環境づくりに努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の場合が図られるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の場合が図られるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				レスポンスが速く、いつも丁寧に対応してくださっている。	ご評価いただきありがとうございます。 職員の対応について評価いただいた点は大変励みになります。今後も丁寧で安心できる関わりを継続してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1		個人情報の取扱いについては十分配慮し、適切な管理を行っております。今後も安心してご利用いただけるよう、引き続き徹底してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			3		各種マニュアルの整備や訓練は実施しておりますが、その内容の周知が十分でなかった可能性があるため、今後はより分かりやすくお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3		避難訓練等は実施しておりますが、保護者の皆さまへの周知が十分でなかった可能性があるため、今後は実施状況や内容について分かりやすくお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			2		事故やヒヤリハット発生時には速やかな対応と報告を行っておりますが、より安心していただけるよう、対応内容や再発防止策についても分かりやすくお伝えしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	1				お子さまが楽しみに通所しているとの評価をいただき、職員一同励みになります。今後も安心と楽しさの両立を大切にした支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				通所するようになってからできることが増えており満足している。	「できることが増えて満足している」とのご意見をいただき、ありがとうございます。お子さまの成長を感じていただけていることを大変嬉しく思います。今後も一人ひとりの可能性を大切にしながら、支援の質の向上に努めてまいります。

関係機関や保護者との連携	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		交流の機会が限られているため、 無理のない範囲で地域との関わり方を検討する必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や面談を通して、 子どもの状況や発達について保護者と共有し、共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		支援機会や内容にばらつきがあるため、 家族支援の充実に向けた取組が必要である。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用開始時に運営規程や支援内容について丁寧に説明し、理解を得られるよう努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6		子どもや保護者の意向を確認しながら、 最善の利益を考慮した支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援計画をもとに支援内容を丁寧に説明し、保護者の理解と同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		交流の機会が十分でないため、 無理のない範囲で実施方法の検討が必要である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いに配慮し、適切な管理を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもの特性や発達段階に応じて、視覚支援やわかりやすい言葉を用いる等の配慮を行い、保護者とも情報共有を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域との交流機会が十分とは言えないため、 無理のない範囲で機会の創出が必要である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを整備し、職員間で周知するとともに、定期的に訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		非常時に備えた対応体制を整備し、 必要な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前に健康状態や服薬状況等を確認し、 安全に配慮した支援を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づき、研修や訓練を実施し、 安全管理を意識した支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		安全計画に基づき、子どもの安全確保に努めるとともに、保護者へも取組内容の周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する研修を実施し、 職員の意識向上と適切な対応に努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束について組織として方針を定め、 保護者への説明と理解を得た上で適切に対応している。	